



2025年9月25日

各 位

会 社 名 株式会社ミラタップ  
代表者名 代表取締役社長 山根 太郎  
(コード番号：3187 東証グロース)  
問合せ先 取締役副社長 津崎 宏一  
(TEL. 06-6359-6721)

### 特別利益（個別）及び特別損失（連結・個別）の計上 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年9月12日付で「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」を公表いたしました。公表時点で未定でありました当期連結業績に及ぼす影響が判明いたしましたので、特別利益及び特別損失の計上につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

また、これに伴い、最近の業績動向等を踏まえ、2024年11月14日に公表しました2025年9月期の通期連結業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結子会社の異動（株式譲渡）についての概要

##### (1) 異動する子会社（株式会社ベストブライト）の概要

(1) 名称	株式会社ベストブライト
(2) 所在地	福岡市南区桜原一丁目11番37号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 黒井 正幸
(4) 事業内容	建売住宅事業、リフォーム事業
(5) 資本金	30百万円
(6) 設立年月日	2015年10月
(7) 大株主及び持ち株比率	株式会社ミラタップ (100%)

##### (2) 譲渡の相手先の概要

(1) 氏名	三好 徹（株式会社三好不動産所属）
(2) 住所	福岡県福岡市

(3) 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	500株 (議決権所有割合: 100%)
(2) 譲渡株式数	500株
(3) 譲渡価額	1円
(4) 譲渡後の所有株式数	0株 (議決権所有割合: 0%)

(4) 債権放棄額

(1) 債権放棄額	652百万円
-----------	--------

(5) 日程

(1) 取締役会決議日	2025年9月12日
(2) 契約締結日 (予定)	2025年9月29日
(3) 株式譲渡日	2025年9月29日

2. 特別利益 (個別) 及び特別損失 (連結・個別) の計上

(1) 連結決算

本件株式譲渡に伴い、2025年9月期の連結決算において、関係会社株式譲渡損299百万円を特別損失に計上する見込みです。

(2) 個別決算

当社はベストブライト社に対する貸付金について貸倒引当金を計上しておりましたが、2025年9月期の個別決算において、本件株式譲渡に伴う債権の一部放棄により、債権放棄損652百万円を特別損失に計上すると同時に、貸倒引当金戻入益224百万円を特別利益に計上する見込みです。

3. 通期連結業績予想の修正

(1) 2025年9月期 通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年9月期)	百万円 18,500	百万円 100	百万円 80	百万円 56	円 銭 3.06
今回修正予想 (B)	16,660	△400	△400	△540	△29.73
増減額 (B-A)	△1,840	△500	△480	△596	
増減率 (%)	△9.95	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2024年9月期)	16,123	830	796	635	34.63

## (2) 修正の理由

2025年9月期におきましては、2024年10月1日の社名変更に伴い、新社名の認知拡大施策に広告宣伝を集中投下することで売上の拡大を見込んでおりました。社名認知は順調に拡大しているものの当初の想定には届いておらず、また、社名認知から購買行動へ至るまでのリードタイムについても想定より時間を要しております。加えて、社名変更に伴うドメイン変更の影響でECサイトへの流入が想定よりも落ち込んだことも売上が伸び悩む一因となりました。

期中において、広告宣伝施策を見直し、より顕在顧客へ向けたアプローチを実施しているものの、売上が想定に届かなかったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表を下回る見込みであります。

また、株式譲渡に伴い、譲渡価額につきましては、ベストブライト社が現在債務超過であり、同社の将来キャッシュ・フローは引き続きマイナスが見込まれることを考慮し、譲渡価額の妥当性を十分検討したうえで、株式譲渡先と協議の結果、決定いたしました。これに伴い、関係会社株式譲渡損299百万円の計上が見込まれますので、上記のとおり修正いたします。

なお、事業面での今後の動向につきましては引き続き精査中であります。

(注) 上記の通期連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上